

長畝ふるさと通信

【2016年9月号】

■ 今年もオール「1等米」・・・終わりよければすべてよし！



9月5日から始まった今年の収穫作業。秋雨前線が停滞し、雨天の日が多く思うように作業が進みませんでした。モミが濡れているとコンバインが詰まってしまう、稲刈りがスムーズにできないのです。特に今年は例年になく台風の上陸があり、まさにお天気との戦いでもありました。



長雨でぬかるんだ田んぼはコンバインも入っていくことができず、手刈人足を動員しての総力戦も何日かありました。「明日通過する台風にやられる前に何とかしないと・・・」全身汗まみれの泥まみれで稲を刈ります。ぬかるみに足を取られ、翌日はみんな筋肉痛でした。(先輩方は腰痛も併発したようで・・・)

■ 新車登場

コンバインを1台、新車に買い替えました。稲刈り初日のピカピカの姿です。大事に使いましょう・・・と思ったのもつかの間、この後、馬力を買われて泥だらけの現場に行かされる羽目になるのです。ご愁傷さま・・・





左の写真は稲刈り最終日の「新車くん」の雄姿です。約1か月の間、文句も言わずよく働いてくれました。夕日に照らされ稲を刈る姿は神々しくも見えますね。来年の秋までゆっくりと休養して、またカー一杯働いてください。なにせ、君には恐ろしい大枚をはたしているのだから。

■ 終わりよければすべてよし



測定No	00007790
日付	2018/09/30
検査種	玄米
食味値	82 point
タンパク(CM)	5.6%
水分	14.8%
アミロース	18.4%
脂肪酸度	14.1 mg/100g
検査番号	00000000

おかげさまで今年収穫したお米はすべて「1等米」でした。収穫量は前年よりも若干減少しましたが、生産者として責任を果たした思いです。JAの食味計で測定した数値は「食味値82点」と及第点。今年もおいしく食べていただくことができそうです。この一か月間、いろんな苦労もありましたが「終わりよ

ければすべてよし」と心をなでおろしています。お米のブランド産地間競争は益々激しくなり、新しいブランド米が矢継ぎ早に世に出てきます。日本の主食であった「コメ」はもはや「嗜好品」になりつつあります。TPOに合わせて食べるお米を変えていく時代です。先日テレビで「炭水化物ダイエット」の特集があり、かつ丼のご飯を全部ブロッコリーに変えて提供する弁当屋が人気だとレポートしていました。しばらく開いた口がふさがりませんでした。ボクに言わせればこれは「お米に対する冒とく」です。長崎ちゃんぽんの専門店が麺なしの具だけのメニューを出しているとか・・・売れば何でもアリか？

日本人のお米に対する教育を見直していただきたい。

■ 収穫を終えて・・・

稲刈りを終えた田んぼにトキの群れが舞い降りてきます(写真が小さすぎて申し訳ありません)。まるで稲刈りが終わることを心待ちにしていたかのように。夏から秋にかけて田んぼに入ることができなかった彼らにとって稲のない田んぼは絶好のエサ場なのです。



「田んぼがなければ生きていけない」という嬉しい声が聞こえてきそうです。どこかの日本人にもぜひこの声を聴かせてあげたい。そんな思いでトキをしばらくの間静かに眺めていました。

みなさん、大変お待たせいたしました。新米をお届けいたします。たらふく召し上がってください。

おかわりは自由です。